

2019年10-12月期GDP速報（1次速報値）

～ ポイント解説 ～

令和2年2月17日

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

[1] GDP成長率

2019年10-12月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、1次速報値において、実質は1.6%（年率6.3%）と5四半期ぶりのマイナス成長となった。名目は1.2%（年率4.9%）となった。

[2] GDPの内外需別の寄与度

実質GDP成長率（季節調整済前期比）に対する内外需別の寄与度を見ると、国内需要（内需）は2.1%と5四半期ぶりのマイナス寄与となった一方、財貨・サービスの純輸出（外需）は0.5%と3四半期ぶりのプラス寄与となった。

[3] 需要項目別の動向¹

（1）民間需要の動向

民間最終消費支出については、実質2.9%と5四半期ぶりの減少となった。自動車、化粧品等が減少に寄与したとみられる。

民間住宅については、実質2.7%と2四半期ぶりの減少となった。

民間企業設備については、実質3.7%と3四半期ぶりの減少となった。供給側推計の基礎となる総固定資本形成の動きを見ると、建設、生産用機械等への支出が減少に寄与したとみられる。

民間在庫変動のGDP寄与度については、実質0.1%となった。実質の在庫残高の増加幅が2019年7-9月期から拡大（2019年7-9月期0.9兆円、2019年10-12月期1.5兆円）し、2019年7-9月期と比べた増加幅の拡大分（0.6兆円）がGDP成長率に対して寄与した²。

¹ 季節調整済前期比について解説。

² 実額はいずれも実質季節調整値（年率表示）。

(2) 公的需要の動向

政府最終消費支出については、実質 0.2%増と 3 四半期連続の増加となった。公的固定資本形成については、実質 1.1%増と 4 四半期連続の増加となった。公的在庫変動の GDP 寄与度は、実質 0.0%と横ばいであった。

(3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出については、実質 0.1%と 2 四半期連続の減少となった。自動車等が減少に寄与したとみられる。

財貨・サービスの輸入については、実質 2.6%と 3 四半期ぶりの減少となった。自動車等が減少に寄与したとみられる。

[4] デフレーターの動向

GDP デフレーターについては、季節調整済前期比で 0.4%となった。国内需要デフレーターは前期比 0.3%となった。外需デフレーターはプラスに寄与した。

GDP デフレーターの前年同期比については、1.3%となった。

[5] 2019 年の GDP

2019 年の実質 GDP 成長率は、前年比 0.7%と 8 年連続のプラス成長となった。政府最終消費支出 (寄与度 0.4%)、公的固定資本形成 (寄与度 0.2%)、民間企業設備 (寄与度 0.2%) 等がプラスに寄与したことなどから、内需が 0.9%とプラス寄与となった。他方、外需は 0.2%とマイナス寄与となった。

名目 GDP 成長率については、前年比 1.3%と 8 年連続のプラス成長となった。政府最終消費支出、公的固定資本形成、民間最終消費支出等がプラスに寄与したことなどから、内需が 1.3%とプラス寄与となった。他方、外需はほぼ横ばい (寄与度 0.0%) となった。

GDP デフレーターについては、前年比 0.6%と 3 年ぶりの前年比上昇となった。

[参考]

[1] G N I (国民総所得) の動向

2019年10-12月期の実質GNI成長率は、季節調整済前期比で1.6%（年率6.1%）と5四半期ぶりのマイナスとなった³。海外からの実質純所得（寄与度0.1%）がマイナス寄与となった一方、交易利得（寄与度0.1%）がプラス寄与となった。名目GNI成長率については、季節調整済前期比で1.3%（年率4.9%）と5四半期ぶりのマイナスとなった⁴。

2019年の実質GNI成長率は、前年比0.8%となった。海外からの実質純所得（寄与度0.0%）が概ね横ばいの寄与となった一方、交易利得（寄与度0.2%）がプラス寄与となった。名目GNI成長率は、前年比1.3%となった。海外からの純所得（寄与度0.0%）は概ね横ばいの寄与となった。

[2] 雇用者報酬の動向

2019年10-12月期の名目雇用者報酬は、前年同期比で1.7%増、季節調整済前期比で0.4%増となった。前年同期比については、雇用者数、一人当たり賃金がともに増加に寄与した。実質雇用者報酬については、前年同期比では0.7%増、季節調整済前期比では0.3%となった⁵。

2019年の名目雇用者報酬は、前年比1.9%増と7年連続の増加となった。実質雇用者報酬は、前年比1.2%増と5年連続の増加となった。

（以上）

³ 実質GNI = 実質GDP + 海外からの実質純所得 + 交易利得

⁴ 名目GNI = 名目GDP + 海外からの純所得

⁵ 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃及びFISIM）デフレーターで除して算出した参考値。